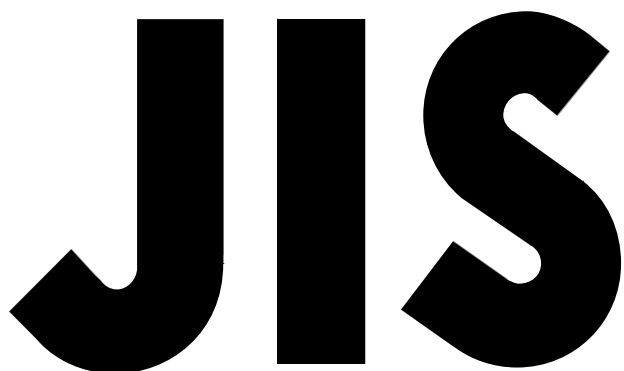




120 mm 及び 80 mm DVD-RAM ディスク用ケース

JIS X 6247 : 2005
(ISO/IEC 17594 : 2004)
(OITDA/JSA)

平成 17 年 8 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	石 崎 俊	慶應義塾大学
(委員)	浅 野 正一郎	国立情報学研究所
	伊 藤 章	財団法人日本規格協会
	伊 藤 文 一	財団法人日本消費者協会
	岩 下 直 行	日本銀行
	岩 田 秀 行	日本電信電話株式会社
	大久保 彰 徳	社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	小 川 義 久	財団法人日本情報処理開発協会
	笥 捷 彦	早稲田大学
	河 内 浩 明	社団法人電子情報技術産業協会
	後 藤 志津雄	株式会社日立製作所
	小 町 祐 史	パナソニックコミュニケーションズ株式会社
	関 根 千 佳	株式会社ユーディット
	田 中 謙 治	総務省
	中井川 禎 彦	総務省
	成 田 博 和	富士通株式会社
	平 野 芳 行	日本電気株式会社
	伏 見 諭	社団法人情報サービス産業協会
	藤 村 是 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	宮 澤 彰	国立情報学研究所
	山 本 泰	日本アイ・ビー・エム株式会社
	山 本 喜 一	慶應義塾大学
	渡 辺 裕	早稲田大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 17.8.20

官 報 公 示：平成 17.8.22

原 案 作 成 者：財団法人光産業技術振興協会

(〒112-0014 東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル TEL 03-5225-6431)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：情報技術専門委員会 (委員長 石崎 俊)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット情報電気標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、財団法人光産業技術振興協会(OITDA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO/IEC 17594:2004, Information technology—Cases for 120 mm and 80 mm DVD-RAM disks** を基礎として用いた。

この規格に従うことは、次に示す企業が管理する多数の特許権の使用に該当するおそれがある。

株式会社東芝

コーニンクレッカ・フィリップス・エレクトロニクス・エヌヴィ

なお、この記載は、上記に示す企業が管理する特許権の効力、範囲などに関して何ら影響を与えるものではない。

この規格の原案作成団体である財団法人光産業技術振興協会は、上記の企業の子会社である東芝 DVD ライセンス株式会社、日本フィリップス株式会社が、日本工業標準調査会に対して、それぞれの親会社である株式会社東芝とコーニンクレッカ・フィリップス・エレクトロニクス・エヌヴィが、非差別的、かつ、合理的な条件で、いかなる者に対しても当該特許権の実施を許諾する意志があることを保証していることを表明している旨述べている。

この規格の一部が、上記に示す以外の技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は主眼公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性がある。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任をもたない。

JIS X 6247 には、次に示す附属書がある。

附属書 A (規定) 基準面に対する 120 mm 用ケースの位置

附属書 B (規定) 120 mm 用ケースのエッジひずみ試験

附属書 C (規定) 120 mm 用ケースのコンプライアンス試験

附属書 D (規定) 基準面に対する 80 mm 用ケースの位置

附属書 E (規定) 80 mm 用ケースのエッジひずみ試験

附属書 F (規定) 80 mm 用ケースのコンプライアンス試験

附属書 G (規定) 80 mm 用ケースのシャッタオープニング力試験

附属書 H (参考) タイプ 2 ケース、タイプ 3 ケース、タイプ 4 ケース又はタイプ 5 ケースの開口カバーの例

附属書 J (参考) 80 mm 用ケースのディスクホルダと本体との結合

附属書 K (参考) 輸送

目 次

	ページ
序文	1
第 1 章 一般事項	1
1. 適用範囲	1
2. 適合性	2
3. 引用規格	2
4. 定義	2
5. 慣例及び表記法	2
5.1 数値表示	2
6. ケースの概要	2
6.1 タイプ 1 ケースの概要	2
6.2 タイプ 2 ケースの概要	3
6.3 タイプ 3 ケースの概要	3
6.4 タイプ 4 ケースの概要	3
6.5 タイプ 5 ケースの概要	3
6.6 タイプ 6 ケースの概要	3
6.7 タイプ 7 ケースの概要	3
6.8 タイプ 8 ケースの概要	3
6.9 タイプ 9 ケースの概要	3
7. 一般要求事項	9
7.1 環境条件	9
7.2 温度衝撃	9
7.3 安全性	9
7.4 耐燃性	9
第 2 章 120 mm ディスク用ケースの寸法及び機械的特性	10
8. 寸法特性	10
8.1 タイプ 1 ケースの寸法	10
8.2 タイプ 2 ケースの寸法	26
8.3 タイプ 3 ケースの寸法	42
8.4 タイプ 4 ケースの寸法	43
8.5 タイプ 5 ケースの寸法	43
9. 機械的特性	44
9.1 材料	44
9.2 質量	44
9.3 エッジのひずみ	44
9.4 コンプライアンス	44

9.5 シャッタオープニング力	44
10. カートリッジとドライブ間とのインタフェース	44
10.1 キャプチャシリンダ	44
10.2 ケースの内部寸法	45
11. ケース内のディスクの方向性	48
11.1 ケースタイプ 1, 4 及び 5 内の両面ディスク (タイプ 2S)	48
11.2 ケースタイプ 1, 2 及び 3 内の片面ディスク (タイプ 1S)	48
第 3 章 80 mm ディスク用ケースの寸法及び機械的特性	48
12. 寸法特性	48
12.1 タイプ 6 ケースの寸法	48
12.2 タイプ 7 ケースの寸法	68
12.3 タイプ 8 ケースの寸法	87
12.4 タイプ 9 ケースの寸法	87
13. 機械的特性	87
13.1 材料	87
13.2 質量	87
13.3 エッジのひずみ	87
13.4 コンプライアンス	87
13.5 シャッタオープニング力	88
14. カートリッジとドライブ間とのインタフェース	88
14.1 キャプチャシリンダ	88
14.2 ケースの内部寸法	88
15. ケース内のディスクの方向性	88
15.1 ケースタイプ 6 及び 8 内の両面ディスク (タイプ 2S)	88
15.2 ケースタイプ 7 及び 9 内の片面ディスク (タイプ 1S)	89
附属書 A (規定) 基準面に対する 120 mm 用ケースの位置	91
附属書 B (規定) 120 mm 用ケースのエッジひずみ試験	92
附属書 C (規定) 120 mm 用ケースのコンプライアンス試験	93
附属書 D (規定) 基準面に対する 80 mm 用ケースの位置	95
附属書 E (規定) 80 mm 用ケースのエッジひずみ試験	96
附属書 F (規定) 80 mm 用ケースのコンプライアンス試験	97
附属書 G (規定) 80 mm 用ケースのシャッタオープニング力試験	99
附属書 H (参考) タイプ 2 ケース, タイプ 3 ケース, タイプ 4 ケース又はタイプ 5 ケースの 開口カバーの例	100
附属書 J (参考) 80 mm 用ケースのディスクホルダと本体との結合	102
附属書 K (参考) 輸送	103
解 説	104

白 紙

120 mm 及び 80 mm DVD-RAM ディスク用ケース

Cases for 120 mm and 80 mm DVD-RAM disks

序文 この規格は、2004年に第1版として発行されたISO/IEC 17594, Information technology—Cases for 120 mm and 80 mm DVD-RAM disks を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

第1章 一般事項

1. 適用範囲 この規格は、JIS X 6246 に規定する 120 mm DVD-RAM ディスク及び 80 mm DVD-RAM ディスク（以下、ディスクという。）に用いるケース（以下、ケースという。）の特性について規定する。この規格は、関連する仕様の異なる次の九つのタイプについて規定する。これらのケースには、裏返して使用できるタイプと使用できないタイプとがある。

タイプ 1 片面（タイプ 1S）又は両面（タイプ 2S）120 mm DVD-RAM ディスクを収納する。このケースからディスクを取り出すことができない。

タイプ 2 片面 120 mm DVD-RAM ディスク（タイプ 1S）を収納する。このケースからディスクを取り出すことができる。裏返して使用することはできない。

タイプ 3 片面（タイプ 1S）又は両面（タイプ 2S）120 mm DVD-RAM ディスクを挿入して、カートリッジとして用いてもよい。裏返して使用することはできない。

タイプ 4 両面 120 mm DVD-RAM ディスク（タイプ 2S）を収納する。このケースからディスクを取り出すことができる。

タイプ 5 片面（タイプ 1S）又は両面（タイプ 2S）120 mm DVD-RAM ディスクを挿入して、カートリッジとして用いてもよい。

タイプ 6 両面 80 mm DVD-RAM ディスク（タイプ 2S）を収納する。このケースからディスクを取り出すことができる。

タイプ 7 片面 80 mm DVD-RAM ディスク（タイプ 1S）を収納する。このケースからディスクを取り出すことができる。裏返して使用することはできない。

タイプ 8 両面 80 mm DVD-RAM（タイプ 2S）ディスクを挿入して、カートリッジとして用いてもよい。

タイプ 9 片面 80 mm DVD-RAM（タイプ 1S）ディスクを挿入して、カートリッジとして用いてもよい。裏返して使用することはできない。

この規格は、次の項目について規定する。

- a) ケースの動作環境及び保存環境条件
- b) データ処理システム間の機械的互換性を確保するためのケースの寸法及び機械的特性